

加古川市上下水道事業運営審議会の審議内容（経営改善に係る取り組み）について

1 概要

令和6年度に改定した経営戦略（中長期の経営計画）において、水道事業は令和10年度から赤字の見込みとなっています。このような中、令和7年度に開催した加古川市上下水道事業運営審議会（以下「運営審議会」という。）において審議した結果、健全な経営のため支出削減の取組みを実施してもなお、水道料金を改定することが必要との方向性が示されました。これを受け、令和8年8月に開催した運営審議会において水道料金の改定率等について審議しました。

2 経営戦略の収支見込み（R6-7は決算値）

（単位：百万円）

	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16
総収益	5,142	5,137	5,027	5,023	4,948	4,923	4,895	4,875	4,830	4,797	4,763
総費用	4,681	5,006	4,866	4,963	5,075	5,134	5,176	5,309	5,459	5,440	5,470
純利益	461	131	161	60	▲127	▲211	▲281	▲434	▲629	▲643	▲707

3 水道料金の改定率（案）について

料金算定期間を5年間（R10-14）としたうえで、直近の決算値を基に昨今の経済情勢等を勘案し、以下の4パターンについて審議しました。

	物価上昇率	賃金上昇率	料金改定率
パターンA（内閣府 過去投影）	1.1%	1.5%	19.7%
パターンB（内閣府 成長移行）	2.0%	3.0%	24.7%
パターンC（日銀短観）	2.5%	3.0%	27.2%
パターンD（想定超）	3.0%	3.0%	29.7%

運営審議会において、
← 「パターンB」が適切
との結論に至りました。

4 水道料金改定後の収支見込み（パターンBで令和10年度から改定した場合）（単位：%、百万円）

	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
経常収支比率	114.1	111.0	108.7	105.6	102.2	101.4	100.3	99.6
純利益	730	585	469	311	124	79	16	▲21

※経常収支比率：（経常収益÷経常費用）×100 で算出し、黒字を示す100%以上になることが求められる。

5 今後の予定

令和8年10月22日（木）：第2回運営審議会（料金体系の検討）

令和8年12月21日（月）：第3回運営審議会（経営改善に係る取り組みの答申案について）

運営審議会での審議終了後：上下水道事業管理者へ答申

令和9年 6月：市議会へ議案を上程